

万博会場で関西の地域ブランドの魅力を PR！

～ 近畿経済産業局が選定したブランドの産地が国内外に情報発信 ～

経済産業省 近畿経済産業局（以下、近畿経産局・同局）は、大阪・関西万博（以下、万博）の開催を見据え 2020 年から同局管内において独自に地域ブランドを選定し、ブランド力強化や市場開拓につながる様々な支援事業を展開してきました。

2025 年 8 月 17 日（日）、万博会場にこれらの地域ブランドが集結し、ブース出展やステージパフォーマンスを通じ、ブランドの魅力を国内外に情報発信しました。

1. 近畿経産局の地域ブランド支援

近畿経産局は、管内（近畿 2 府 4 県と福井県）における国の経済産業施策の総合窓口として、企業の経営革新や海外展開の支援、次世代テクノロジーの開発・普及につながる施策推進など、幅広い業務を展開している。

同局の地域ブランド支援事業では、これまでに 13 ブランド（図表 1）を選定しており、地域において自立的にブランド形成の好循環を生み出す「地域ブランドエコシステム※」の構築を目指している。具体的な支援活動は、在外公館と連携したマルシェ開催や SNS による情報発信、地域ネットワークサロン（地域ブランド関係者間の交流会）など多岐にわたっている（図表 2）。

※「エコシステム」とは「企業や人、ノウハウ、資金が累積し、共生関係を築きながら形成される経済圏・共同体」のこと。

2. 万博活用戦略と地域ブランド

万博は国家事業として経済産業省が担当しており、近畿経産局では 2019 年に設立された日本国際博覧会協会と連携・協力し、万博の機運醸成に取り組んできた。

同局の万博活用戦略は、会場内だけでなく関西全体で万博のパワーをフル活用し、経済・産業の飛躍に向けたアクションを推進していくもので、同局ではこの概念を「拡張万博」と称している。

今回、万博会場でこれらのブランドの魅力を発信することは、この拡張万博の考え方に合致した取り組みであり、これまでの同局の支援事業の集大成と位置付けるイベントとなっている。

（図表 1）近畿経産局選定のブランド一覧

ブランド名	所在地
鯖江のめがね	福井県鯖江市
和束茶	京都府和束町
信楽焼	滋賀県甲賀市
奈良酒	奈良県内
広陵くつした	奈良県広陵町
和歌山ニット	和歌山県和歌山市
泉州タオル	大阪府泉佐野市
淡路島の食と香り	兵庫県淡路島
三木の酒米等	兵庫県三木市
播州織	兵庫県西脇市・多可町
丹波篠山の黒大豆等	兵庫県丹波篠山市
丹後織物	京都府京丹後市・与謝野町
三輪素麺	奈良県桜井市

（図表 2）近畿経産局による支援活動



（左）在外公館との連携によるマルシェ開催
（右）地域ネットワークサロン（地域ブランド関係者間の交流会）

3. 万博会場イベント

（1）開催概要・目的

イベントタイトル【守・破・離（しゅ・は・り）】は、伝統を守り突き破る未来、目を離せない展示会をイメージしており、世界各国からの来場者に「見る」「触る」「嗅ぐ」「聞く」の 4 つの感覚を使った展示やショーを行った。

当日は国内外から約 6,000 名がイベント会場を訪れ、夜間まで盛況であった。

- 日 時：2025 年 8 月 17 日（日） 11:30～19:00
- 場 所：フェスティバルステーション
- タイトル：【守・破・離】関西の伝統工芸等の未来への飛翔
- 内 容：産地によるブース出展とステージイベント

【ステージイベント】

時間	内 容
11:30～13:00	・オープニングセレモニー ・トークセッション(落語家×産地)
13:30～15:00	学生アイデアコンテスト(併催事業)
15:15～17:45	各地域によるパフォーマンス
18:30～19:00	関西ブランドの大喜利



(左) オープニングセレモニー（酒樽太鼓）(右) トークセッション

（２）奈良県内産地のブース出展

県内では３ブランドの産地がイベントに参加し、ブース出展を行った。

ブランド名	出展者名	主な出展内容
奈良酒	奈良県酒造組合	奈良酒 4 斗樽による飾り樽オブジェやパネル展示
広陵くつした	広陵町、広陵町産業総合振興機構	靴下に触れて感じてもらう展示と廃材を使ったワークショップ
三輪素麺	奈良県三輪素麺販売協議会、同工業協同組合	手延べそうめんの特徴であるこしの強さとのどごしの良さを説明

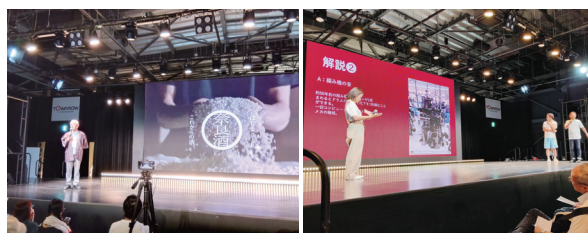


(左上から時計回りに) 奈良酒、広陵くつした、三輪素麺、三輪素麺を PR する桜井市マスコットキャラクター「ひみこちゃん」

（３）奈良県内産地によるパフォーマンス

ステージイベントとしてブランド産地によるパフォーマンスが行われ、県内からは奈良酒と広陵くつしたが参加した。

ブランド名	主な出展内容
奈良酒	日本最古の清酒である奈良酒の特徴が分かる PR 動画を放映し、地域の伝統や歴史などを発信。
広陵くつした	アトツギたちによる製品の紹介とともに、靴下の製造工程や原材料に関するクイズを出題し、産地・産品を PR



(左) 奈良酒：北岡篤会長による「清酒発祥の地」の PR
(右) 広陵くつした：国産靴下の魅力の紹介とクイズの出題

出展者にとって今回のイベントは、万博会場での地域ブランドの PR という所期の目的達成に加え、来場者とのコミュニケーションを通じ新たな気づきを得ることができたという意味で、大変意義深いものとなった。

イベントを主催した近畿経産局の地域ブランド展開支援室磯貝智子課長補佐は、「会場いっぱい熱気が漂い、産地や世代を超えた交流が一日中途切れることがなかった。これまで直接産地に関わったことがない『よそ者』や『若者』が情熱を持ってイベントに参加し、産地もまた誇りを持って応える姿があり、閉幕後の充実した顔つきに、これからの地場産業発展への希望を実感した」とこれまでの手ごたえと今後の展望についての熱い思いを語る。

同局の地域ブランド支援は万博を目指しスタートしたが、万博閉幕後も地域ブランドの自走化を目的としたハンズオン支援など、取り組みを継続・深化させていく方針で、ブランド発の好循環サイクルによる地域経済の活性化が期待される。

(秋山利隆)